



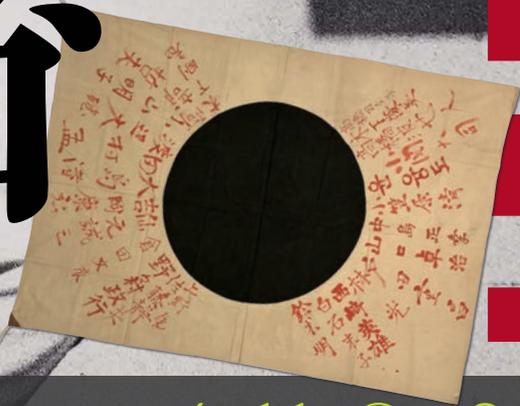
大島渚の映画

没後10年

大島渚

映画監督

展覧会 没後10年



2023年4月11日(火)→8月6日(日)

*月曜日および5月30日(火)～6月1日(水)は休業です。

国立映画アーカイブ展示室 (7階)

開室時間：午前11時～午後6時30分(入室は午後6時まで)

*4/28、5/26、6/30、7/28の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。
(入室は午後7時30分まで)

*会期および開館時間等に変更がある場合はホームページでお知らせします。

料金：一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / 65歳以上、高校生以下及び18歳未満、

障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。

* ()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」または

QRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

*2023年5月18日(木)「国際博物館の日」は、無料でご覧いただけます。

主催：国立映画アーカイブ

特別協力：株式会社大島渚プロダクション

監修：樋口尚文

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/

Twitter: @NF AJ_PR Facebook: NF AJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan



『愛の亡霊』(1978年) 撮影現場の大島渚
上:『戦場のメリークリスマス』(1983年) 戸田重昌のセットイメージ図
右:『少年』(1969年) スタッフとキャストの名前入り傘連判

【新型コロナウイルス感染症拡大予防のため】マスクの着用をお願いします。
体温が37.5℃以上の方は入館の見合わせをお願いします。

絶えず映画の自由を追い求め、作品ごとに主題やスタイルを刷新しながら、時に社会の暗部をえぐる反逆者として、また時に映画の常識を破る冒険者として屹立する巨人、映画監督大島渚(1932-2013)を日本が失ってから早くも10年の歳月が経ちました。

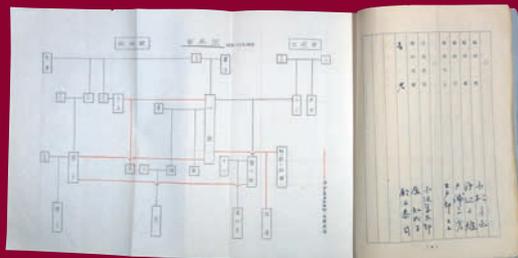
若き日に松竹撮影所で生み出された鮮烈な『青春残酷物語』(1960年)や『日本の夜と霧』(1960年)、自ら興したプロダクション「創造社」を基盤に次々と送り出された『絞死刑』(1968年)、『少年』(1969年)、『儀式』(1971年)といった問題作、そして世界をセンセーションに巻き込んだ国際的合作『愛のコリーダ』(1976年)や『戦場のメリークリスマス』(1983年)——大島の作品群は日本の映画界ばかりか、日本社会そのものに大きな刺激を与え続けました。

この展覧会「没後10年 映画監督 大島渚」は、監督が自ら体系的に遺した膨大な作品資料や個人資料をベースに、その挑戦的な知性と行動の多面体に迫るものです。企画の監修には、それら資料を明るみに出した大著『大島渚全映画秘蔵資料集成』(2021年)の編著者樋口尚文氏を迎え、同書の構成を踏襲しつつ当館独自のコーナーも加えて、その苛烈な映画人生を俯瞰します。

Although it seems only yesterday, ten years have passed since Japan lost Nagisa Oshima (1932-2013), a filmmaking giant who constantly pursued freedom in film and renewed his subject matter and style with each work, sometimes as a rebel who plunged into society's dark side, and sometimes as an adventurer who dared to break away from cinema's accepted practices.

The striking *Cruel Story of Youth* (1960) and *Night and Fog in Japan* (1960), both produced at Shochiku Studio in his youth. *Death by Hanging* (1968), *Boy* (1969), *The Ceremony* (1971), and other controversial works produced under his own production company Sozocha. And major works such as *In the Realm of the Senses* (1976) and *Merry Christmas, Mr. Lawrence* (1983) that became international sensations. Throughout Oshima's career, his works consistently inspired and provoked Japan's film industry and society.

This exhibition, "Film Director Nagisa Oshima," will explore the many facets of Oshima's provocative intellect and behavior based on the vast amount of materials—both film-related and personal—that he methodically left behind. It is supervised by Naofumi Higuchi, editor of *Treasured Documents Collection from All Nagisa Oshima Films* (2021), an important work that brought those materials to light. Following the structure of Higuchi's book, and with an additional section featuring NFAJ's own approach, the exhibition will provide a bird's-eye view of Oshima's fiery film career.



展覧会の内容

- 出生から学生時代、そして撮影所へ
- ヌーヴェル・ヴァーグの旗手として
- 松竹退社と模索の季節
- 独立プロ・創造社の挑戦
- 創造社の解散と国際的活躍
- 大島映画の美的参謀、戸田重昌
- 幻の企画と晩年

関連イベントを実施する際は、ホームページでお知らせいたします。

関連上映企画

「没後10年 映画監督 大島渚」

2023年4月11日(火)～5月28日(日)
*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

関連書籍



『大島渚全映画秘蔵資料集成』
[監修]大島渚プロダクション [編著]樋口尚文
[発行]国書刊行会
ISBN:978-4-336-07202-3 B5判・820頁
定価 12,000円+税
※全国の書店・各ネット書店で販売中。
会期中、当館1階受付でも販売を予定しています。

図版

- 1 『少年』(1969年) 撮影スナップ
- 2 『愛のコリーダ』(1976年) フィルム断片
- 3 『愛のコリーダ』(1976年) 撮影スナップ
- 4 学生時代の創作ノート(1950年頃)
- 5 『絞死刑』(1968年) シナリオ準備稿
- 6 『儀式』(1971年) 登場人物の家系図
- 7 『日本春歌考』(1967年) シナリオの印刷指示書
- 8 日本映画監督協会の会員証(1985年)
- 9 『戦場のメリークリスマス』(1983年) 日本語版Tシャツ(デザイン:山本寛齋)
- 10 『戦場のメリークリスマス』(1983年) 撮影スナップ
- 11 『御法度』(1999年) 新選組隊服(デザイン:ワダエミ)

マスクの着用をお願いします。体温が37.5℃以上の方は、入館の見合わせをお願いします。

【当館の新型コロナウイルス感染拡大防止策】

*来館者全員への検温を実施。 *館内各所に手指用消毒液を
*展示室内の換気を実施。 *スタッフはマスク・手袋を
着用して対応。 *受付等の対面場所に飛沫ガードの設置

【ご来館の皆様へのお願い】

*発熱等の諸症状がある方は、来館をお控えください。 *館内ではマスクの着用をお願いします。 *館内で体調を崩された場合は、スタッフにお知らせください。
*手洗いや手指の消毒にご協力ください。 *入退場やご観覧の際は、互いに適切な距離を保つようお願いいたします。 *展示室内での会話はお控えください。
*会場内で飲食はできません。 その他、感染症防止に関する当館の指示をお守りいただけますようお願いいたします。

交通

- ▶ 東京メトロ銀座線橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- ▶ 都営地下鉄浅草線西町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- ▶ JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分